

再評価結果（令和6年度事業継続箇所）

担当課： 道路局 環境安全・防災課

担当課長名： 伊藤 高

|   |                                    |  |  |             |       |        |
|---|------------------------------------|--|--|-------------|-------|--------|
| 事業名   | 空港・港湾等アクセス道路<br>市道 明海町・老津町 28号線    |  | 事業区分   | 地方道         | 事業主体  | 愛知県豊橋市 |
| 起終点   | 自：愛知県豊橋市明海町<br>至：愛知県豊橋市老津町石穴       |  |  | 延長          | 1.3km |        |
| 事業概要  |                                    |  |  |             |       |        |
| 市道明海町・老津町28号線事業は、（主）豊橋渥美線と一般国道259号植田バイパスを結ぶ幹線道路であり、豊橋市明海町～豊橋市老津町石穴までの延長約1.3kmを、物流ネットワークの強化、交通渋滞の緩和、災害時の道路機能の確保を目的に整備を行うものである。   |                                    |  |  |             |       |        |
| H29年度事業化  | 都市計画決定なし                           |  | H31年度用地着手  | R3年度工事着手    |       |        |
| 全体事業費   | 約47億円                              |  | 事業進捗率  | 32%         | 供用済延長 | Km     |
| 計画交通量   | 8,100台/日                           |  |  |             |       |        |
| 費用対効果分析結果   | B/C<br>(事業全体) 2.8<br><br>(残事業) 3.5 | 総費用<br>(残事業)/(事業全体)<br>34/43億円<br>事業費：32/41億円<br>維持管理費：1.7/1.7億円 | 総便益<br>(残事業)/(事業全体)<br>119/119億円<br>走行時間短縮便益：107/107億円<br>走行経費減少便益：12/12億円<br>交通事故減少便益：0.20/0.20億円 | 基準年<br>令和5年 |       |        |
| 感度分析の結果   |                                    |  |  |             |       |        |
| (事業全体) 交通量：B/C=2.5～3.0（交通量±10%）<br>事業費：B/C=2.5～3.1（事業費±10%）<br>事業期間：B/C=2.3～3.3（事業期間±20%）<br>(残事業) 交通量：B/C=3.1～3.8（交通量±10%）<br>事業費：B/C=3.2～3.9（事業費±10%）<br>事業期間：B/C=3.0～4.2（事業期間±20%） |                                    |  |  |             |       |        |
| 事業の効果等  |                                    |  |  |             |       |        |
| (1) 国際競争力を強化する基盤整備<br>・三河港は物流拠点に位置し、コスト削減につながる港湾整備対策が実施されており、物流強化に向けた東西方向の道路整備が求められる。<br>・整備により、名豊道路大崎ICから三河港へアクセスが向上し物流の強化が期待される。  |                                    |  |  |             |       |        |
| (2) 人の交流を支える地域を活性化する基盤整備<br>・三河港に接続する（主）豊橋渥美線は主要渋滞箇所に指定され渋滞が発生しているが、東西軸を新たに整備することで交通の効果的な分散を図り渋滞緩和が期待される。   |                                    |  |  |             |       |        |
| (3) 津波・地震対策の強化<br>・第一次緊急輸送道路に指定の（主）豊橋渥美線と国道259号への接続を担うとともに災害時において安定した道路機能の確保に寄与する。  |                                    |  |  |             |       |        |
| 関係する地方公共団体等の意見  |                                    |  |  |             |       |        |
| ・三河港明海地区産業基地運営自治会、豊橋市自治連合会（老津地区）から早期開通を要望されている。   |                                    |  |  |             |       |        |
| 学識経験者等の第三者委員会の意見  |                                    |  |  |             |       |        |
| ・事業継続については妥当である。  |                                    |  |  |             |       |        |
| 事業採択時より再評価実施までの周辺環境変化等  |                                    |  |  |             |       |        |
| ・周辺環境等に特に変化はない。   |                                    |  |  |             |       |        |
| 事業の進捗状況、残事業の内容等   |                                    |  |  |             |       |        |
| ・令和4年度末時点で、事業費ベースの事業全体の進捗率は32%である。調査・設計は完了しており、用地補償は平成31年度以降順次進展し令和6年度に完了予定、工事についても令和3年度に着工済みで令和8年度末に完了する見込みである。  |                                    |  |  |             |       |        |
| 事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等  |                                    |  |  |             |       |        |
| ・本事業が国土交通省の国庫補助事業（個別補助）として令和3年度に新規事業箇所に採択されたことで、事業の着実な推進が見込まれるため、引き続き令和8年度の完了を目指し事業を推進する。   |                                    |  |  |             |       |        |

施設の構造や工法の変更等

・技術の進展に伴う新工法の採用等による新たなコスト縮減に努めながら事業を推進していく。

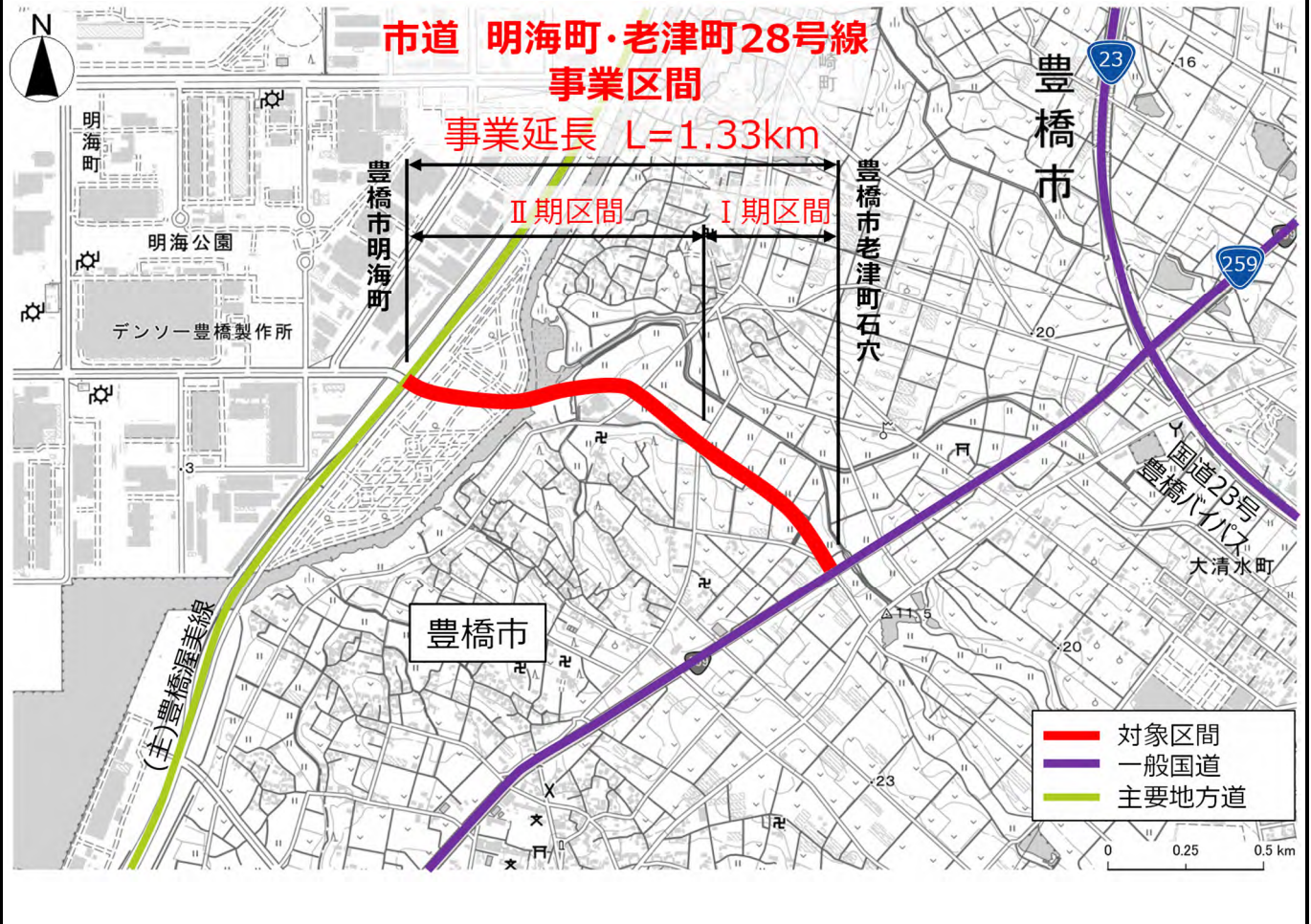
対応方針

事業継続

対応方針決定の理由

・事業の必要性、重要性は変化なく、費用対効果の投資効果も確保されているため。

事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価値を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。